

農と輝の大地 八幡平市

温泉とラグビーを満喫しよう!!

ラグビーフェスタ2008 IN HACHIMANTAI

ゴールドカップ・マスターズ2008 IN HACHIMANTAI

ご案内

パンフレット

今年もラグビーシーズンが到来しました。夏の八幡平と大自然の中でラグビーを満喫してみませんか。

八幡平市は、ラグビーの振興と普及を応援しています。

八幡平市は雄大な岩手山と四季豊かな八幡平と湯量豊富な温泉とグラウンド、
そしてオールシーズンリゾートとして皆さんのチーム、ファミリー、お友達をお迎えます。

「スポーツマンシップ」と「ジェントルマンシップ」

これがこの大会のキーワードです。

今年度は地元釜石シーウェイブスと唯一の日本選手権出場クラブチーム、タマリバクラブが三期連続の対戦、
そして秋田ノーザンブレッツが新進気鋭のクラブチーム駒場WMMとの対戦が決定しています。

生涯スポーツとして35歳以上のチーム同士のマスターズ大会を併設開催します。

出場希望チームはフリーエントリー制ですので、実力に見合った対戦相手と試合が出来ます。

プレーの後そしてリゾートライフの一日の締めくくりには、温泉でゆったりとおくつろぎください。

美味しい地ビールと野外懇親会、そして八幡平の大自然が皆さんをお待ちしています。

<大会期日>

2008年7月19日(土)～20日(日)

<会場>

上寄木グラウンド(松尾八幡平ICから車で5分)

<全体ファンクション>

(19日18:00～)

野外バーベキューで大盛り上がり

<大会スケジュール>

7月19日(土)

フリーエントリー制による交流試合(10:00～)

上寄木グラウンド(松尾八幡平ICから車で4分)

7月20日(日)

駒場WMM<対>秋田ノーザンブレッツ(11:00キックオフ)

タマリバクラブ<対>釜石シーウェイブス(12:40キックオフ)

上寄木グラウンド

出場参加予定チーム(県内)

釜石SW
滝沢ロックイーグス
紫波オックスRFC
矢巾・北上ブレイズラガー
奥州アテルイ
宮古釜石ヤングマン

出場参加予定チーム(県外)

タマリバクラブ
駒場WMM
秋田ノーザンブレッツ
宮城選抜

東北高校チャレンジリーグ

出場校 青森県・秋田県・岩手県・宮城県・山形県・福島県から
高校の強豪チームが参加を予定しています。

マスターズ大会

参加チーム数により主催者でアレンジ致します

岩手選抜 秋田シナジレックス、青森選抜
宮城選抜 福島選抜 山形選抜

大会実施要項

1. 名称

第15回 ラグビーフェスタ2008 IN HACHIMANTAI
第4回 ゴールドカップ・マスターズ2008 IN HACHIMANTAI

2. 主催

関東ラグビーフットボール協会

3. 主管

岩手県ラグビーフットボール協会

4. 共催

(社)八幡平市観光協会

5. 後援(予定)

八幡平市、八幡平市教育委員会、(社)八幡平市体育協会、八幡平市商工会、(株)IBC、
岩手日報(株)

6. 協賛(予定)

みちのくコカ・コーラボトリング株式会社、ミズノ株式会社、東日本旅客鉄道株式会社

7. 期日

2008年7月19日(土)～20日(日)

8. 会場

岩手県八幡平市松尾 上寄木グラウンド(4面)

9. 参加資格

- ①2008年4月31日現在、日本ラグビーフットボール協会管下の各都道府県協会にチーム登録されたチーム(一般クラブ、社会人チーム、OBチーム、学生チーム)、及び県市区町村等の選抜チーム、並びにマスターズ(試合当日35歳以上)チーム。
- ②コンバインドチームを編成して出場する場合には幹事チームを決め、そのチーム名で出場すること。幹事チームは出場に関する全ての責任を負う。

10. 選手資格

- ①選手は18歳以上の者とし、高等学校在学中(定時制を含む)の参加はできない。
- ②大会当日までに所属都道府県協会を通じて財団法人日本ラグビーフットボール協会へ「競技者個人登録」を完了していること。
- ③日本協会制定の「日本協会規約」に反する者は出場できない。
- ④参加選手は財団法人スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」に加入していること。
- ⑤本大会に限り、他のチームに所属している選手を自チームで出場させることができる。
申込書の所定欄に他チーム名と競技者個人登録番号を付記すること。
- ⑥その他選手資格に疑義がある場合には関東ラグビーフットボール協会に於いて裁定する。

11. 競技規則

- ①2007-2008日本ラグビーフットボール協会制定の競技規則による。
- ②交流試合の試合時間は30分ハーフを基本とする。
- ③タッチジャッチ1名とメディカル・サポーター1名を用意すること。
- ④ジャージ、パンツ、ソックスは、チーム全員統一されたものを着用すること。(コンバインドチームでも統一すること)

12. 対戦組み合わせ

- ①交流試合の組み合わせは、岩手県ラグビーフットボール協会(大会実行委員会)で調整のうえ決定する。時間、レベル等に係る希望について相談に応じるので事前にお申し出願いたい。
- ②大会参加申し込み後の出場辞退は一切認めない。

13. 大会参加料

1チーム20,000円（*7月19日夕刻の代表者会議にて受付）

14. 大会日程

7月19日（土）

(A) 交流戦（上寄木グラウンド）/30分H

11:00～

別表の「グラウンド割」を参照ください。

なお、グラウンド割は40分ハーフを基本として作成しておりますが各チームの参加状況により調整をさせていただきます。

(B) 代表者会議、ファンクション（トラウトガーデン）

*全参加チームの代表者、キャプテンは必ず参加のこと

17:30～17:50 開会、代表者会議、ファンクション受付

18:00～20:00 懇親会（選手全員ご参加ください）

（懇親会）一人3,500円 *小学生以下無料（当日会場にて徴収）

7月20日（日）

(A) メインゲーム（上寄木グラウンド）

11:00～12:30 駒場WMM VS 秋田ノーザンブレッツ

12:40～14:10 タマリバクラブ VS 釜石シーウェイブス

(B) 交流戦（上寄木グラウンド）/30分H

11:00～

別表の「グラウンド割」を参照ください。

なお、グラウンド割は40分ハーフを基本として作成しておりますが各チームの参加状況により調整をさせていただきます。

(C) ゴールドカップ・マスターズ大会（上寄木グラウンド）/15分H

12:00～ トーナメント方式（複数試合があります）

*競技日程は、部分的に変更される場合があります。

*詳細は参加申込のあったチーム宛にあらためて連絡します。

15. 宿泊及び費用

①宿泊は（前／後泊も含め）（社）八幡平市観光協会 [0195-78-3500] にご相談、お問合せください。

②料金（民宿・ペンション利用の場合）

・大人6,000円（税サ込）1泊1朝昼食

・小人4,000円（税サ込）1泊1朝昼食 *4才～小学生まで

*4才以下は宿と相談ください

・希望の場合は、大人5,000円（税サ込）1泊1朝、小人3,000円（税サ込）1泊1朝でお受けします。

16. 大会申込・問い合わせ先

岩手県ラグビーフットボール協会

事務所 019-643-8286 (FAX兼用)

メールアドレス iwate-rugby@leaf.ocn.ne.jp

高橋保夫 携帯:090-7065-2839

メールアドレス yt2126@ace.ocn.ne.jp

三浦信吾 携帯 090-2274-6467

メールアドレス miura@vill.takizawa.iwate.jp

宿泊については、前記の(社)八幡平市観光協会[0195-78-3500]までお問合せ願います。

申込期限/7月1日(火)

大会参加上の諸注意

このラグビーフェスタ2008 IN HACHIMANTAIは、多くのラグビーチームが松尾八幡平に集い、生涯スポーツとしてのラグビーを通じて親善と友好を深める趣旨で開催されています。また、単にゲームを楽しむだけでなく、大会という機会をとらえてマナーの向上、エチケットの遵守、さらに、ラグビースピリットを遍く普及させて、クラブラガーメンの心意気を全国に示すことも大きな目標の一つとして掲げています。以下の諸注意事項は、大会実施要項と併せて、遵守すべき最低限の基準を定めたものです。熟読していただき、充分なる配慮をお願いします。

1. 試合方法

- (1) 交流試合は各チーム15人で行なう。15人揃わないチームは「不戦敗」とする。
 - ・タッチジャッジ1名とメディカル・サポーター1名を用意すること。(他クラブからのレンタル可)
- (2) 本大会に限り選手交替の人数制限は適用されない。選手の交替・入替えは、必ずレフリーの許可を得てから行なうこと。
- (3) メディカル・サポーターは、かならず認定証を持参し、当日大会本部から貸与するビブスを着用の上職務を務めること。
- (4) タッチジャッジはきちんとスタイルし(平服、Gパン、ぞうり履き等不可)、タオル等でなく必ずタッチフラッグを使用すること。

2. プレーヤーの服装

- (1) ジャージ、パンツ、ソックスは、チーム全員統一されたものを着用すること。不統一の選手は出場できない。
 - ・パンツのスリットライン、ソックスの折り返しに不統一が散見されるので、十分注意すること。
 - ・選抜チームやコンバインドチームで出場する場合もチーム全員統一されたものを着用し、全国のクラブチームの模範となるべく意気込みを示すこと。
- (2) ヘッドギア、ショルダーパットは、<IRBマーク>の付いたもの以外は認めない。
 - ・ドレスチェックは型番などではなく、<IRBマーク>の有無だけで判断を行う。
- (3) 服装に関する協会からの「通達」を厳守すること。服装規定に違反した選手の出場は認めない。
 - ・ジャージは、エリ付きのもので、ソデは最低肩からヒジまでの長さを有するものであること。
 - ・胸にマークを付ける場合には、100平方センチを限度とし、1ヶ所のみとする。
 - ・マークのついたジャージを着用するチームは全員が統一されていること。

- ・ ジャージの形状等については次のとおりとします。

【ジャージの襟】

- ・ ジャージの襟は、縦型の場合、高さを 35mm 以上とする。（厳守）

【ジャージの前立】

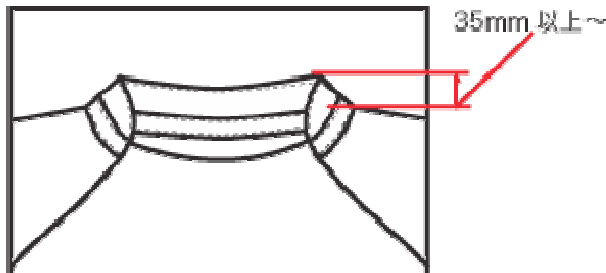
1. 前立のないジャージも着用可とする。（新規）
2. 前立のある場合は、従来通り長さは 80mm～150mm とする。（厳守）

【ジャージの素材】 現規定通り

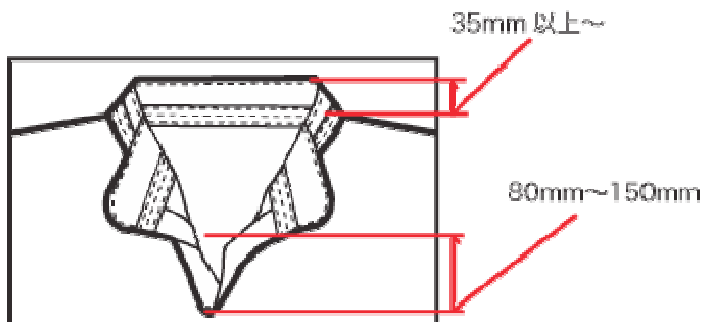
- ・ 着用するジャージの素材については、衣類として使用できうるものであれば可とする。

【ジャージの前立付きボタン】 【ジャージのサイズ】 については規定を設けない。

参考図



前立のないジャージの形状（襟は従来通り）



従来ジャージの襟・前立の形状

- (4) アンダーパンツ、サポーター類はパンツと同色の物を使用すること。 但し、白色のアンダーパンツ、サポーター類は、いずれのパンツにも使用することが出来る。
- (5) ジャージの袖丈より長いアンダーウエアは着用できない。
- (6) 取り外し式のプレートタイプ（波型）のスパイクは着用できない。
 - ・ ツマ先に三日月型ストッパーのついたスパイクは禁止されている。
- (7) 選手は全国のクラブラグーマンの代表としてふさわしい着こなしを心がけること。
 - ・ ソックスはきちんと上げる。試合中ずり落ちないようにテープ等できちんと止めること。
 - ・ パンツの上に出たジャージは、常に注意してパンツの中に入れる。
 - ・ ジャージのエリを内側へ折り込まない。ラグビーはエリのあるスポーツである。
 - ・ ジャージのソデを極端にたくし上げたり、テープで止めたりしない。
- (8) ジャージに血液が付着した場合には直ちに取り替えること。
- (9) 試合前にレフリー、競技委員がドレス・チェック（服装、スタッド等の検査）を行うので、その場になってまごつかないように、選手は前もって了解しておいて頂きたい。ドレスチェックで不許可になったものを身につけて出場した場合には、発見時点で「退場」処分となる。

3. 競技に関して

- (1) 申し込み時点で選手登録しなかった選手は、代表者会議の席で必ず選手登録の変更・追加の手続きを行うこと。
 - ・書式は代表者会議でお渡しします。
- (2) ハーフタイム時のプレイヤーの休息地点は、5メートルラインより内側である。水、その他の持ち込みは、世話係（各チーム4名以内）が5メートルラインより内側のプレイヤーの所に持って入ること。
- (3) チームの世話係は、レフリーへ水その他を持って行くこと。
- (4) 試合中の給水は、必ず選手がタッチサイドに来て飲むこと。世話係、観戦者は絶対にフィールド内に入らないこと。
- (5) 試合中観戦者（リザーブ、チーム関係者等）は、ゲームの推移とともにタッチサイトを移動しないこと。一定の場所にとどまって観戦し、指示の声をだしたりせず静かに観戦すること。
- (6) シンビンを受けた選手は、センターライン付近の所定の位置にとどまり、その間チームコーチ等に接触してはならない。
- (7) 芝生保全のため、キックの際には「キックティ」を使用すること。

4. 健康管理、その他

- (1) 大会参加に当たっては、あらかじめ健康診断を受診する等、選手の健康管理には充分配慮すること。特に、過去に脳震蕩を起こしたことのある者は、必ず脳波検査、CT等の検査を受診させること。
- (2) グラウンドで明らかな頭部打撲を認め、その受傷時に応答（意識状態）の異常、あるいは、身体活動の異常が認められるものは、すべて競技規則にいう「悩んとう」に該当するものと考えて退場させる。試合中に脳震蕩で退場したプレイヤーが出た場合には、チーム責任者は所定の用紙によって報告の義務がある。
- (3) 「競技者個人登録」に漏れのないよう、事前に各都道府県協会にて手続きを済ませておくこと。
- (4) 健康保険証を必ず持参すること。
- (5) 選手の健康管理のため、無理な日程は安全対策上問題があるので、各チームとも余裕のあるスケジュールで行動すること。
- (6) 各試合の終了後は、両チームでミーティングを持ち、交歓を計って頂きたい。
- (7) 各チームはグラウンドでの応急措置が出来る最低限の救急セットを用意すること。